



衣類の「カビ」、その原因と防止方法！！

衣替えの時期、クリーニングに出すタイミングが悩みの種・・・ではありませんか？

「もう寒くはならないだろう。」と思ってクリーニングに出すと、急に寒さが戻ってきたりして「折角クリーニングに出したけど、寒いから・・・」と、その服をまた数日間着用する羽目に。結局、「そんなに着ていないから」と再びクリーニングすることなくそのまま長期保管、という経験はありませんか？

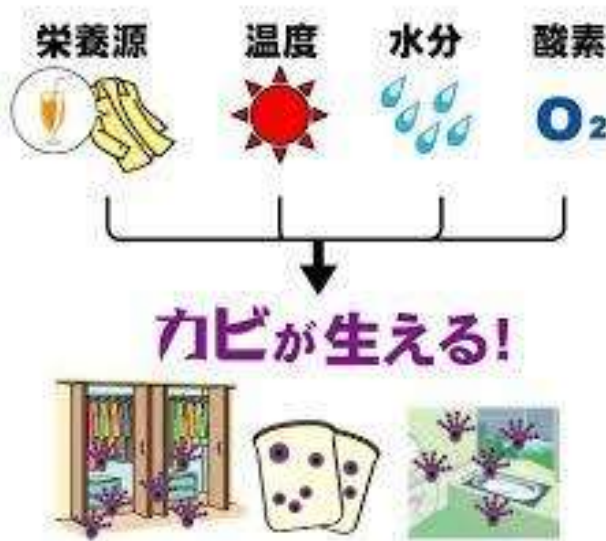
衣服は一度でも着用すれば「汗」や「汚れ」が付着します。
その汚れが「カビ」の発生の原因になるのです。

●カビが生える原因(条件)

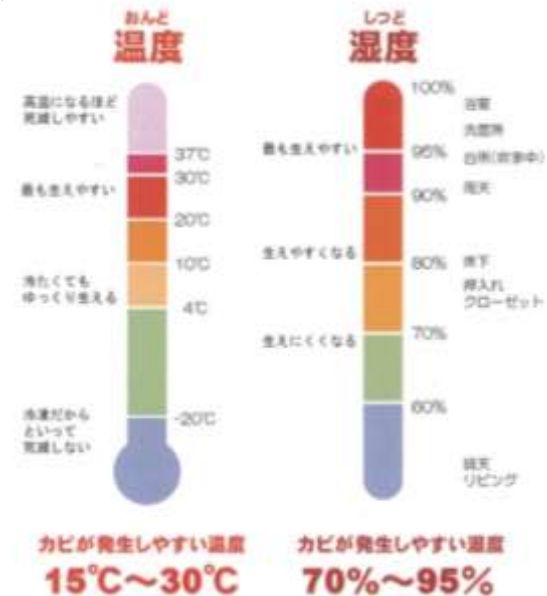
カビの胞子は空気中のいたる所に存在しています。
この胞子に「栄養源」「温度」「水分」「酸素」の4つの条件が揃えば、カビが増殖します。



★カビの4大育成条件

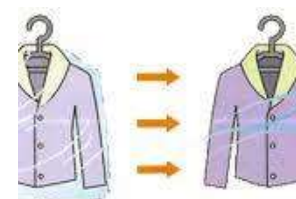


★カビが発生しやすい温度と湿度



●カビの防止策

- 1) 汚れを確実に落としてから収納する。
汚れは全てカビの栄養源となります。
一度でも着用したら、必ずクリーニング(洗濯)をしてから収納を
- 2) 濡れたり、湿気ている衣類をタンスに仕舞わない
- 3) 衣類の保管場所の通気性をよくする
- 4) 梅雨時はクローゼットに除湿機を入れる等、湿度を除く工夫を
- 5) タンスの衣類は八分目収納を。入れ過ぎに注意！
- 6) 戸建ての住宅は、南側・2階での保管がベスト。
- 7) クリーニングのビニール包装は外して、収納する



●悪性になったカビはプロでも取り除くのが困難です

カビは植物の様に根を張り、繊維を分解し生地を傷めている状態です。
カビが発生した状態で長期間経過した衣服を、気兼ねなく着用できる状態に還元させるのは困難を極めます。

衣類の「カビ」も病気と同様、早期発見と予防が必要です。



[カビの生えた礼服]